



【6 組担任 ○先生より】



つい先日プロサッカー選手の弟が引退…あ、違うわ。11月に娘が生まれ…これも違うわ。

どうも、特段みんなに報告できるニュースなんかはない、しがたい教師○です。何を書こうかと悩んで、ふとこの学年通信のタイトルを見ると『一生一瞬』。ああほんとそうだなと思い、私が大切にしていることをみんなに伝えようと決めました。

私が大切にしている一番のモットーは『人生楽しく』です。私は人生が本当に楽しいです。後悔とかほとんどありません。一度きりの人生楽しまないと損でしょと考えています。だから高校生みんなにも、今を全力で楽しんでほしいと思います。でも楽しむというのは、毎日遊んでヘラヘラして楽しいなという楽しさだけではなく、勉強や部活に本気で向き合っ、いろんなことにチャレンジして、必死に努力して、失敗して立ち上がってまたチャレンジして。そしてあとで振り返ったときに、「ああ大変なこともあったけど楽しかったなあ」と思えるような楽しさを味わってほしいです。たった3年間しかない高校生活、なんとなく過ごしても過ぎてしまいます。だったら少しでも充実した楽しい3年間にした方がいいじゃないですか。嫌なことも辛いことも色々あるでしょう。でも、『一生一瞬』誰の人生でもない自分の人生、誰かのせいにして、文句や愚痴を言うのではなく、自分の人生を少しでも楽しくできるように、ちょっとマインドを変えて過ごしてみたいかがでしょうか。繰り返しますが、先生は毎日が本当に楽しいです★

最後に、先生が好きな言葉の一つを

『努力した者がすべて報われるとは限らん。しかし、成功した者は皆すべからく努力しておる』

(漫画「はじめの一步」鴨川会長)

それでは、1年という短い間でしたが、楽しかったです。またどこかで会ったら声かけてください。

【こころのアンテナ 副担任 H先生より】



かつては、アンテナがよく目に入りました。家の屋根にはテレビの八木アンテナ、家のラジオには棒を伸ばすようにして使うロッドアンテナ、このアンテナは車にもフロントピラーにも埋め込まれていました。ガラケーにもありました。それがこの頃はずいぶんアンテナを見かけることが減りました。テレビもケーブル経由になって各家でアンテナを立てなくてもよくなりました。とはいえ、アンテナは見えないだけでむしろかつてより増えていると思います。それはケータイ、スマホです。一家に一台のテレビの時代から一人一台のスマホの時代へ。さらに、ネット接続のためのワイヤレスルーターにもアンテナが付いています。

さて、見えないアンテナを通じて現代の私たちはニュースや動画など毎日多くの情報を得ています。ところで私たちが持っているのは電子部品としてのアンテナだけでしょうか。私たちは心にもアンテナを持っています。自分にとって興味あること、気がかりなこと、好きなことの情報がよく目に入るという経験はあり

ませんか。

「屹立（きつりつ）」という語がある文章に出てきました。「こんな語を使う人が今の時代、いるのか。」とその語を見たときは思いました。しかし、その「屹立」という語を意識した後は、年に一度ぐらいはこの語を見かけることがあります。以前はたとえその語に出会っていても全く気づいていなかったのです。

「秋来ぬと目にはさやかに見えねども風の音にぞおどろかれぬる」

この和歌はどうでしょう。これもある時期になるとよく引用されます。そのある時期にはまだ時間がありますが、意識していると「ああ。」と「おどろく」ことがあるでしょう。そして、あなたがもし、パティシエを目指していたら自然とお菓子やケーキについての情報が、理容師美容師を目指していたら、髪型の流行や国内外の俳優のヘアスタイルの写真が、経済学や経営学を学ぼうと思うなら、世の中の景気や企業の動向が気になるようになるでしょう。

「こころのアンテナ」。このアンテナを立てておくと、今まで目の前を素通りしていた情報が自分の中に入ってきます。自分の興味関心のある事柄にはそのアンテナはすでに立っています。これからは自分の将来も考えて、興味関心の分野を広げて、もっと多くのアンテナを立ててみませんか。そして入ってきた情報は記録しておきましょう。スマホのスクリーンショットでもかまいません。2年次の課題研究の材料になることもあるでしょう。さらに、毎日がきつともっと面白くなりますよ。

### 【 今を大切に！ 副担任 T先生より 】

教師になって4年目、まだまだ独身生活を謳歌していた頃、夏休みに大学時代の友人2人と北海道へ12日間の旅をした。帰りこそ飛行機を利用したが、上野（東京）から夜行に乗り、青森から青函連絡船で函館に渡ったのだから、今考えると優雅な旅であった。何日目かにオホーツク海に面した網走の宿に泊まった時、そこの方が「冬になると流水がギンギン音を立てて目の前まで近づいて来るんですよ」と目を輝かせて話してくれた。まだ見ぬ光景を見てみたいと思った瞬間であった。

数年後、結婚して間もない私は、家内とその流水を見に行くことになった。流水接岸の時期は、2月下旬から3月上旬に限られている。ありきたりのツアーではなく、飛行機・ホテル・列車・バス等すべて自分で手配したマイプランの旅を計画した。予約も済み、休暇も取って、すべてが順調に進んでいた1982年2月9日、日航機が羽田沖で墜落した。いわゆる「日航逆噴射事故」である。元来、飛行機嫌いであった家内が「行かない」と渋り始めた。かなり説得したが、頑として聞き入れなかった。やむを得ず、涙を吞んでキャンセルした。

その後、3人の子供ができ、仕事や部活や子育てに追われて、長い間に私の夢は消えかけていた。マイナス20度の極寒の世界に行くのは、年齢を考えるといつまでも簡単なことではない。とくに子育ても終わったので、思い切って40数年来の夢を叶えてみようと思った。（この学年通信が発行される頃には夢が実現しているのではないかと思う！？） 3年前に亡くなった家内の遺影と共に！！

「仕事と伴侶その2つだけ好きになれば人生は幸せだという」(by 城山三郎)



## 【副担任 I 先生より】

もう2月。娘の卒園が近付いている。息子に続き、娘の送迎と合わせて5年間送迎を続けた幼稚園。息子は最初の1年だけ通園バスを利用していたが、毎朝行きたくなくて、バス内でもずっと泣いていた。まだ赤ちゃんの娘をベビーカーに乗せて朝からたくさんの荷物と歩かない息子を抱っこして、バス停に向かって大泣きの姿を見送る日々。そんな毎日を救ってくれた言葉がある。バスの運転手さんが声をかけてくれた。「お母さん、よく泣く子のほうが、成長したら泣く子の気持ちが分かる優しい子に育つんですよ。」涙がでた。娘も、年長の夏が終わるまでほぼ毎朝泣いていた。2歳で通園が始まった日。コロナの影響で、マスクを一日中つけるように言われ、慣れない小さなマスクをつけて肩を震わせながら静かに部屋に入った後、部屋のなかから聞こえてくる大きな泣き声を聞いて、私の涙も止まらなかった。毎日見ていた泣き顔が今は笑顔に変わり、それだけで成長を感じ胸が熱くなる。たくさん気にかけて声をかけ続けてくれた幼稚園の先生方にも心から感謝している。最近、娘がよく言うことばがある。「ママ、首がうとうとしてきたー。」心の中で、(眠くて首がゆらゆらしているのを表現してるんやなー。)と思うけど、かわいい間違いをもう少し聞いていたくて、まだ間違いを伝えずにいる。

間違えること。失敗すること。泣いてしまうこと。全てが成長に繋がっている。みんなも一人一人、生まれてからずっと大切な人に見守られ、声をかけてもらいながら、たくさんの壁を乗り越え成長して、今高校生活を送っている。授業中に、「全然分からん。」と聞こえてくると私は少し嬉しくなる。分からないからこそ好奇心が出て、学びたくなる。間違うからこそ、学ぶ意味がある。分からないで終わりにせず、その先を追い求めて、学び続けるみんなでいてほしい。

私の好きな Walt Disney の名言。Disneyland will never be completed. It will continue to grow **as long as** there is imagination left in the world. (この left は分詞〈残された〉の意。動詞ではないことに注意！**as long as** は構文ノート 86 参照。)この世界観があるからこそいつもワクワクさせてくれる体験がディズニーの世界にはあるとを感じる。いつも想像力と好奇心を忘れずにワクワクできることを探して下さい。応援しています😊



## 【2月2日（月）人権学習】

2月2日（月）LHRの時間に人権学習「沖縄（八重山）の歴史と文化」についてK先生から講義をしていただきました。沖縄の歴史や、戦時中のこと、現状沖縄が抱える問題について、改めて深く考え学習する貴重な機会になりました。今回の講義を心に留め、2年次の修学旅行でそれぞれにまた想いを深めてほしいと思います。

### 印象に残ったこと

- ・沖縄は戦争により悲しい歴史を歩んできたことが分かった。特に沖縄戦では、13～75歳の男性が戦いに行かされ、住民も15万人以上が亡くなったということが印象に残った。(K・M)
- ・今回のお話を聞くまで、沖縄は楽しくてきれいのイメージだったけど、それだけじゃないことが分かった。(A・M)
- ・沖縄が長い間、支配や戦争に苦しんだ歴史があるということが印象に残った。県民の4人に1人が命を落としたことに衝撃を受けた。美しい自然だけでなく、悲惨な歴史があることを忘れてはいけないと思った。(R・A)
- ・地球で一番人を殺す生き物が、人間の次に蚊だということを初めて知った。こわい！(M・K)

## 感想

- ・沖縄には米軍基地が集中し、その影響での貧困などが課題になっていることを知った。米軍基地の問題は沖縄県民だけが抱えるべきではないと思った。(S・I)
- ・少しでも日本国内の沖縄に対する視線を変えるために私達が今何をすべきなのか考えていきたい。(M・I)
- ・アメリカと日本、お互いが安全に沖縄で共存できるような協定が結ばれるべきだ。(O・M)
- ・沖縄が暗い過去を持ちながら、唄や踊りなどがとても明るく勇気をくれ、愛を感じる県民性が沖縄の素敵などところだと思っている。それらを守っていけるように、これまでやこれからについて考えたい。(M・Y)

### T 先生よりひとこと

先日、笠松先生に人権教育の一環として、沖縄のことを話していただいた。私も、沖縄はプライベートで2回訪れたことがある。神戸から1,300キロ以上離れているとはいえ、美しい海、おいしい食べ物は何度でも行きたい場所となりうる理由の一つではあるが、笠松先生が言われていたように沖縄は「基地の島」でもある。それは、一言でいえば、「歴史の流れと国際政治の結果」であろう。

沖縄で、ぜひ知っておいてほしい一人の人物を紹介したい。我々兵庫県民にとって誇りにすべき「島田 叡」である。現在の神戸市須磨区で生まれ、(現)西須磨小学校から(現)兵庫高校を経て、東京(帝国)大学法学部を卒業、1945年1月に誰も行きたがらない沖縄に知事として赴任した人物である。数か月後に上陸したアメリカ軍と向き合い、時には日本軍とも渡り合い、県民の安全ために疎開や食料調達に命を張ってその職務を果たした人である。戦争末期に南部に移動し、摩文仁あたりで消息が途絶え、未だに遺骨が見つかっていないと聞く。摩文仁の丘にはその功績を讃えて、「島守の塔」という慰霊碑が立ち、兵庫高校生は修学旅行では必ず訪れるところでもある。映画や演劇にもなっているが、ぜひネット等で調べて、我々の偉大な先輩に触れ、心に刻んでほしい。



### 3月の行事予定

3/2(月)～	午前中 45 分授業 start
3/11(水)	生徒休業日 学校立入禁止
3/12(木)～14(土)AM	生徒敷地内立入禁止 *14日PM～15日 生徒校舎内一部立入禁止
3/23(月)	終業式

○教育相談 3/3(火)

※食堂は 2/13(金)以降お休みです。